

株式会社ナカニシ

2018年12月期 決算説明会

2019年2月27日

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

目次

2018年12月期 連結決算の概要	03
2019年12月期 計画	11
市場の状況と今後の施策	16
歯科事業の状況	22
工業事業の状況	28
メディカル事業の状況	30

2018年12月期 連結決算の概要

連結損益計算書

百万円

	当期実績 2018/12	前期実績 2017/12	前期比	当期計画 2018/12	計画比
売上高	36,543	34,341	+6.4%	35,606	+2.6%
売上総利益	21,692	20,804	+4.3%	21,753	-0.3%
利益率	59.4%	60.6%	-1.2pt	61.1%	-1.7pt
営業利益	9,721	9,467	+2.7%	9,564	+1.6%
利益率	26.6%	27.6%	-1.0pt	26.9%	-0.3pt
経常利益	10,676	10,366	+3.0%	9,902	+7.8%
利益率	29.2%	30.2%	-1.0pt	27.8%	+1.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,588	7,341	+3.4%	6,908	+9.8%
利益率	20.8%	21.4%	-0.6pt	19.4%	+1.4pt
EPS *	(円) 87.59	84.75	-	79.75	-

* 前期のEPSは、2018年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で行った株式分割を遡及適用しています。

為替レート

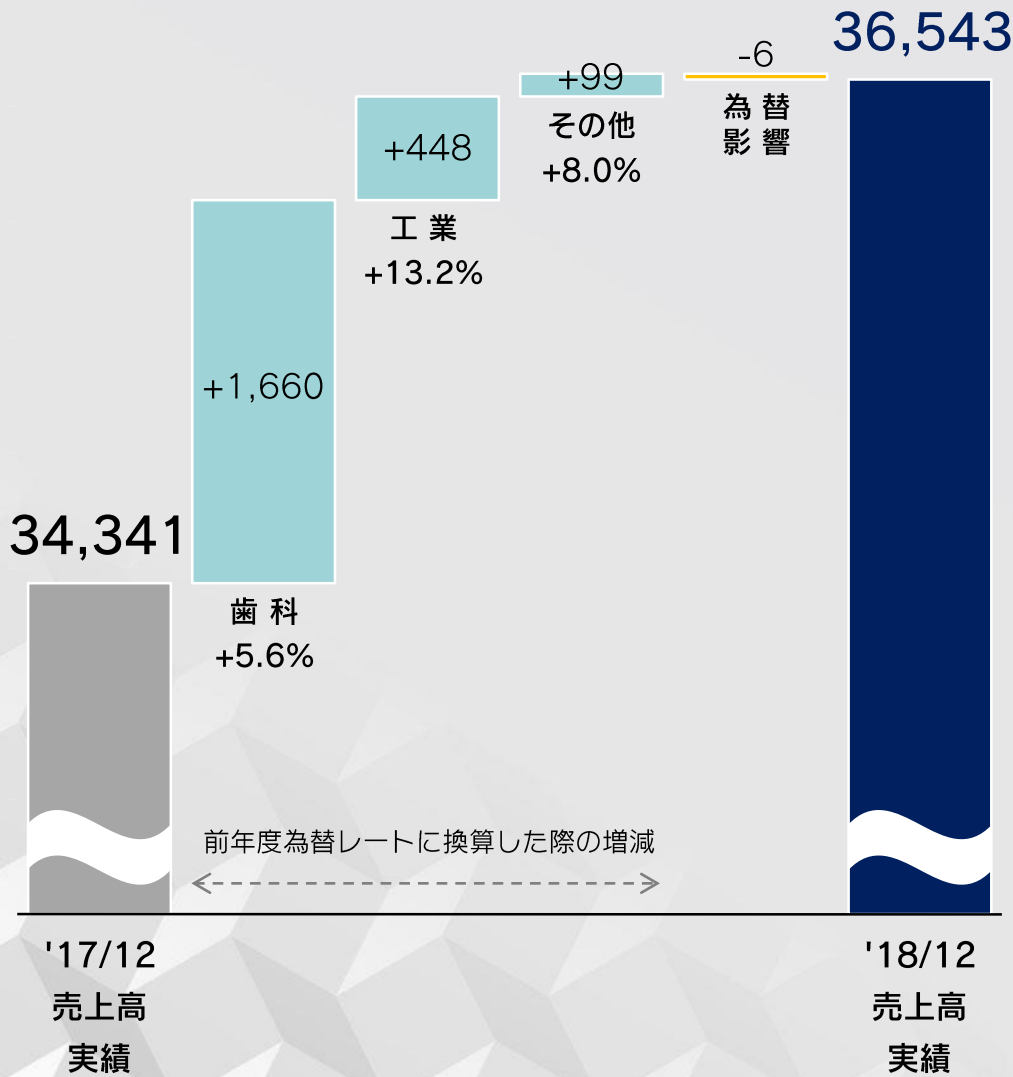
- 米ドル	(円)	110.57	112.39	-1.82 (円高)	105.00	+5.57 (円安)
- ユーロ	(円)	130.39	126.87	+3.52 (円安)	120.00	+10.39 (円安)

▶ 為替影響額： 売上高 -6百万円（前期レート比），+1,402百万円（計画レート比）

▶ 為替感応度： 1円円安による売上高の変動（年換算） 米ドル 64百万円増，ユーロ 59百万円増

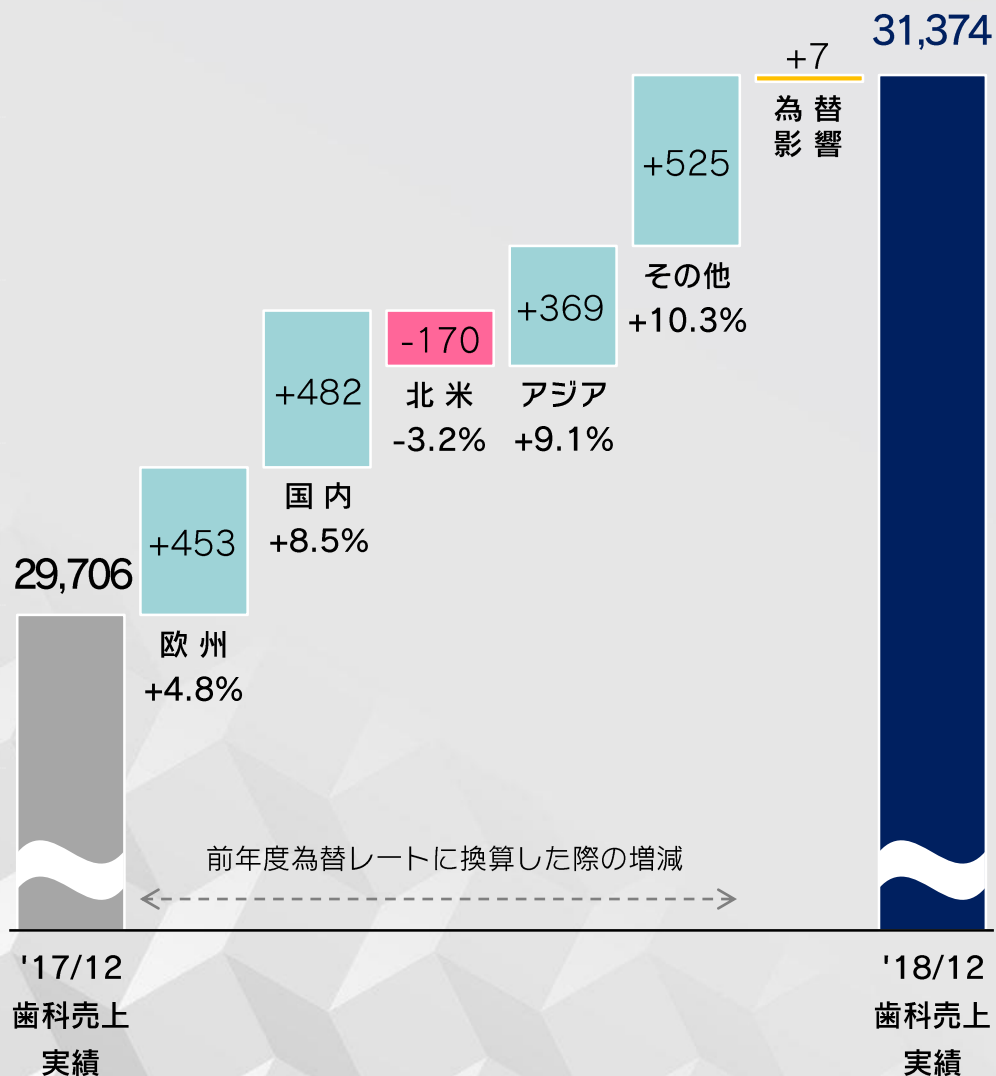
事業セグメント別連結売上高の増減

百万円



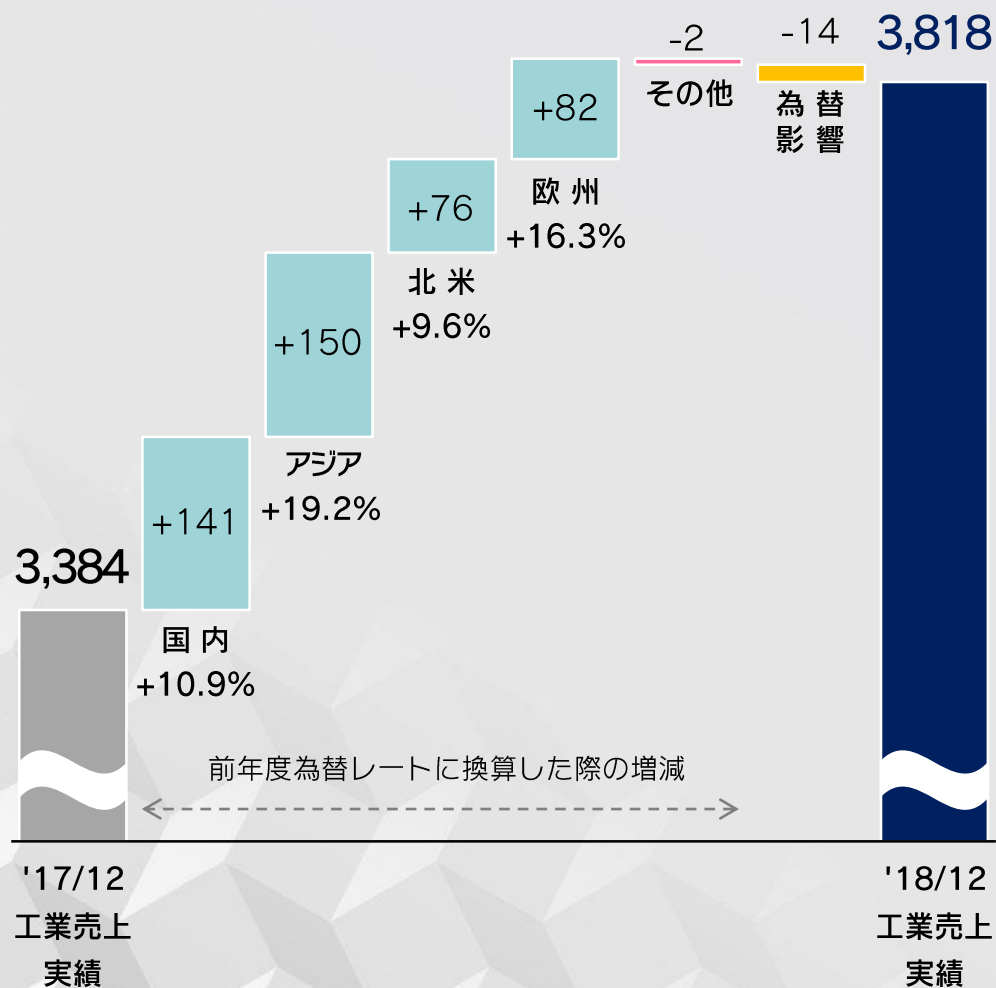
▶ 事業セグメント別・連結売上高

	前期実績 2017/12	当期実績 2018/12	増減
歯科製品関連	29,706	31,366	+1,660
工業製品関連	3,384	3,832	+448
その他	1,250	1,350	+99
為替影響	-	-6	-6
合計	34,341	36,543	+2,201



▶ 歯科製品関連・地域別連結売上高

	前期実績 2017/12	当期実績 2018/12	増減
欧州	9,550	10,003	+453
国内	5,668	6,151	+482
北米	5,320	5,149	-170
アジア	4,083	4,453	+369
その他	5,084	5,609	+525
為替影響	-	+7	+7
合計	29,706	31,374	+1,668

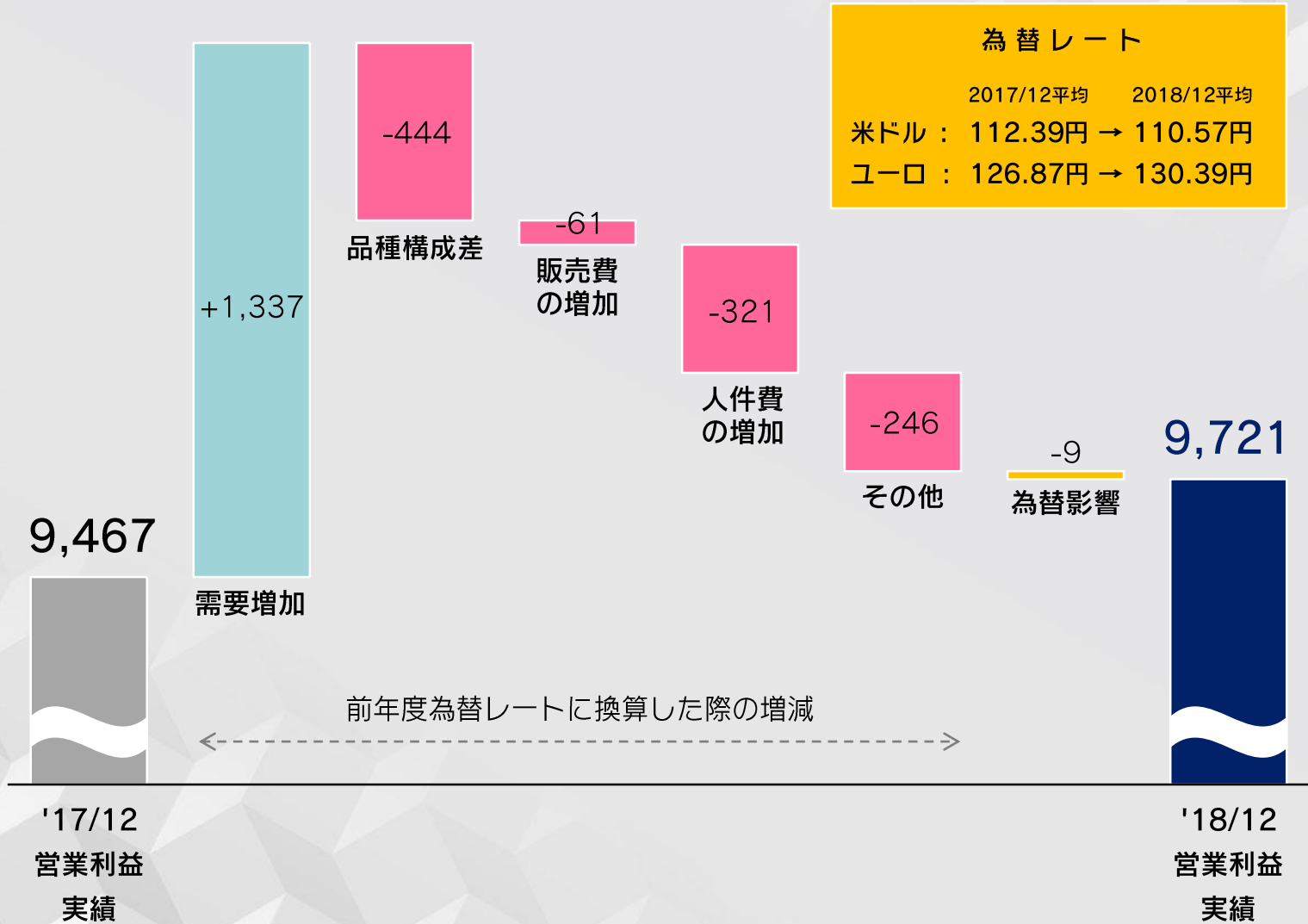


▶ 工業製品関連・地域別連結売上高

	前期実績 2017/12	当期実績 2018/12	増減
国内	1,303	1,445	+141
アジア	783	933	+150
北米	790	866	+76
欧州	503	585	+82
その他	4	2	-2
為替影響	-	-14	-14
合計	3,384	3,818	+434

連結営業利益の増減分析

百万円



連結貸借対照表

百万円

	当期末 2018/12	前期末 2017/12	増減額	増減内容
総資産	73,427	69,505	+3,921	・現金及び預金 +3,986 ・建物及び構築物 +4,132 ・建設仮勘定 -2,290
- 受取手形及び売掛金	5,048	5,349	-301	
- 棚卸資産	9,494	9,211	+282	・商品及び製品 +41 ・仕掛品 +290 ・原材料及び貯蔵品 -48
負債	6,299	6,541	-242	・未払法人税等 +461
- 買掛金	1,029	844	+185	
- 有利子負債	100	100	—	
純資産	67,128	62,963	+4,164	
- 利益剰余金	69,336	64,095	+5,241	
自己資本当期純利益率 (ROE)	11.7%	12.4%	-0.7pt	
総資産経常利益率 (ROA)	14.9%	15.8%	-0.9pt	

	当期実績 2018/12	前年同期 2017/12	増減額	主な内容
設備投資額	2,961	5,352	-2,391	当期：A1関連 1,910 前期：RD1関連 1,790, A1関連 2,306
減価償却費	1,522	1,157	+365	

事業別・地域別 連結売上高

百万円

		国内	輸出計	欧州	北米	アジア	その他	合計	
歯科製品関連	2017/12実績	5,668	24,038	9,550	5,320	4,083	5,084	29,706	
	2018/12実績	6,151	25,223	10,225	5,072	4,471	5,454	31,374	
	前期比	増減額	+482	+1,185	+674	-247	+387	+370	+1,668
	増減率	+8.5%	+4.9%	+7.1%	-4.6%	+9.5%	+7.3%	+5.6%	
工業製品関連	2017/12実績	1,303	2,080	503	790	783	4	3,384	
	2018/12実績	1,445	2,373	585	852	933	2	3,818	
	前期比	増減額	+141	+292	+82	+62	+150	-2	+434
	増減率	+10.9%	+14.1%	+16.3%	+7.9%	+19.2%	-50.0%	+12.8%	
その他	2017/12実績	747	503	6	376	116	4	1,250	
	2018/12実績	785	564	172	245	136	10	1,350	
	前期比	増減額	+37	+61	+166	-131	+20	+6	+99
	増減率	+5.0%	+12.2%	+2754.3%	-34.9%	+17.3%	+159.2%	+7.9%	
合計	2017/12実績	7,719	26,622	10,059	6,486	4,983	5,092	34,341	
	2018/12実績	8,381	28,162	10,982	6,170	5,541	5,467	36,543	
	前期比	増減額	+662	+1,539	+923	-316	+558	+375	+2,201
	増減率	+8.6%	+5.8%	+9.2%	-4.9%	+11.2%	+7.4%	+6.4%	

2019年12月期 計画

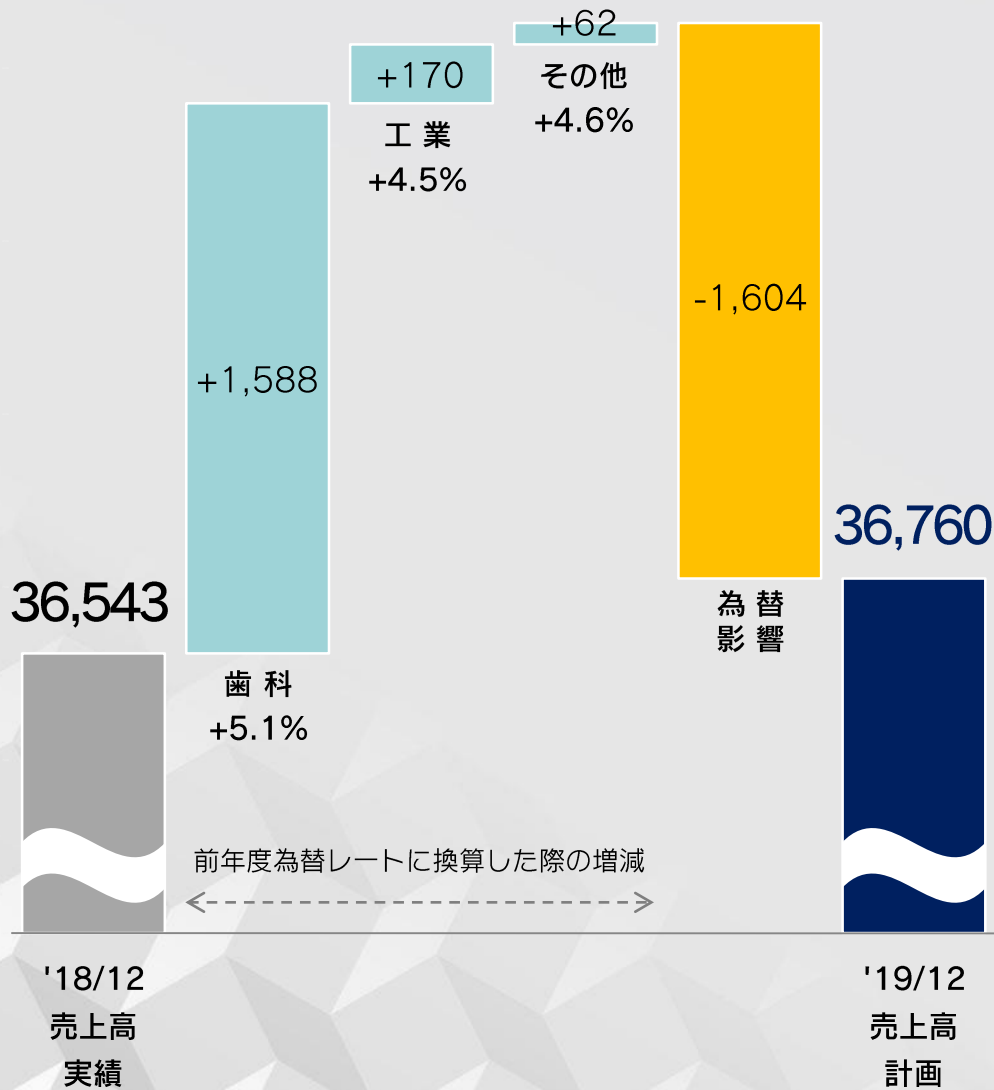
2019年12月期 連結業績の計画

百万円

	2019/12 計 画	2018/12 実 績	増 減	説 明
売上高	36,760	36,543	+0.6%	円高による売上減少 -1,604
売上総利益	22,031	21,692	+1.6%	
利益率	59.9%	59.4%	+0.6pt	
営業利益	9,209	9,721	-5.3%	
利益率	25.1%	26.6%	-1.6pt	
経常利益	9,548	10,676	-10.6%	為替差益の減少
利益率	26.0%	29.2%	-3.2pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,708	7,588	-11.6%	
利益率	18.2%	20.8%	-2.5pt	
EPS (円)	77.42	87.59		
想定為替レート				
- 米ドル (円)	105.00	110.57	-5.57 (円高)	
- ユーロ (円)	120.00	130.39	-10.39 (円高)	
▶ 為替感応度：1円円安による売上高の変動（年換算）米ドル +67百万円，ユーロ +64百万円				
設備投資	2,500	2,961	-461	
減価償却費	1,722	1,522	+200	

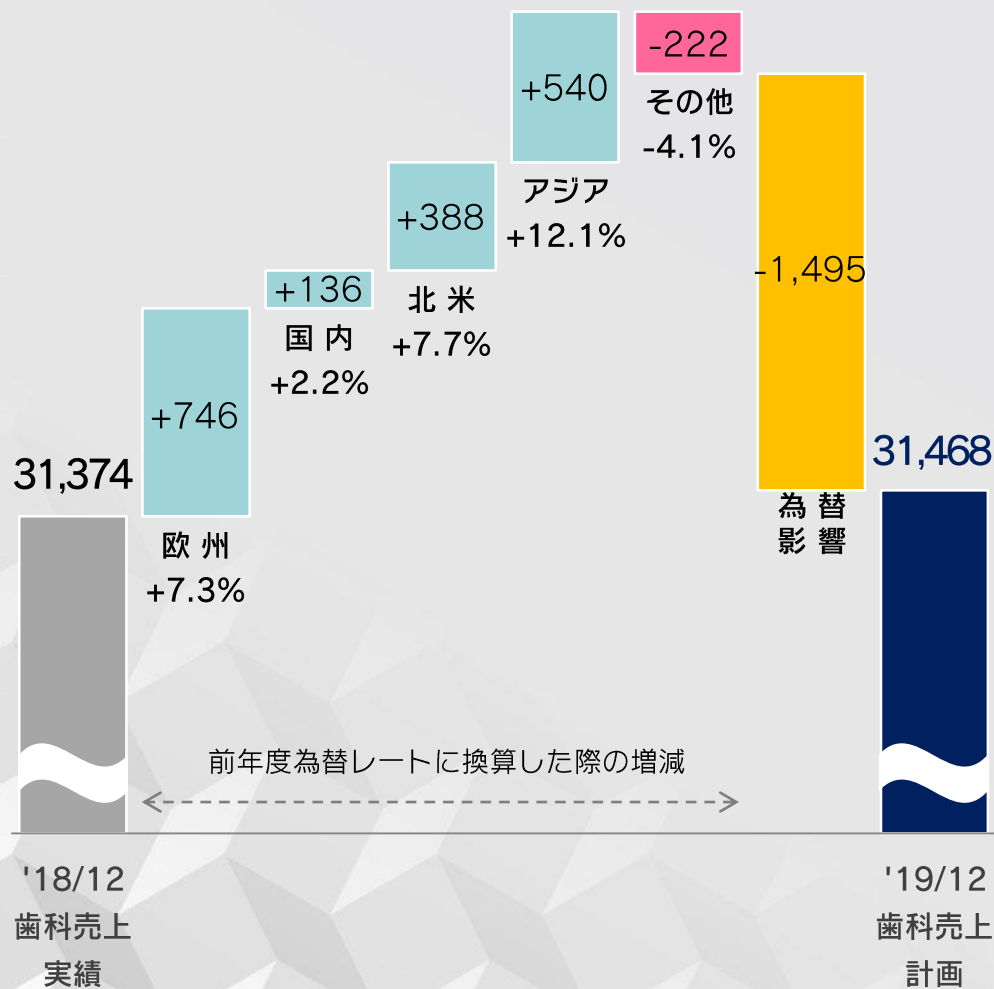
事業セグメント別連結売上高の計画

百万円



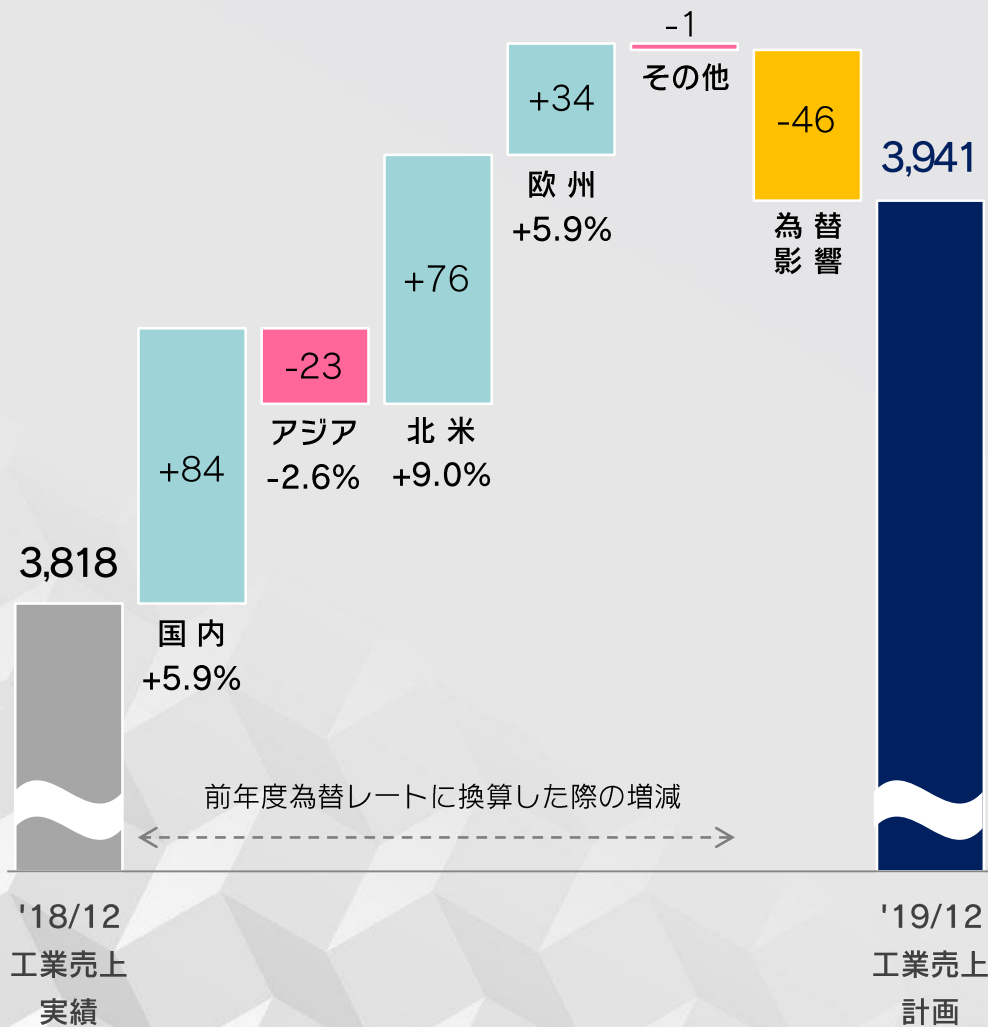
▶ 事業セグメント別・売上高

	2018/12 実績	2019/12 計画	増減
歯科製品関連	31,374	32,963	+1,588
工業製品関連	3,818	3,988	+170
その他	1,350	1,412	+62
為替影響	-	-1,604	-1,604
合計	36,543	36,760	+217



▶ 歯科製品関連・地域別売上高

	2018/12 実績	2019/12 計画	増減
欧州	10,225	10,971	+746
国内	6,151	6,287	+136
北米	5,072	5,461	+388
アジア	4,471	5,011	+540
その他	5,454	5,231	-222
為替影響	-	-1,495	-1,495
合計	31,374	31,468	+93



▶ 工業製品関連・地域別売上高

	2018/12 実績	2019/12 計画	増減
国内	1,445	1,530	+84
アジア	933	910	-23
北米	852	928	+76
欧州	585	620	+34
その他	2	0	-1
為替影響	-	-46	-46
合計	3,818	3,941	+123

市場の状況と今後の施策

全社事業環境

2018年 概況・実績

2019年 想定シナリオ

欧州市場

① 2018年実績レート
1ユーロ：131.26円

① BREXITや政権求心力低下等、政治混迷で経済減速の懸念
② 2019年想定レート 1ユーロ：120円

北米市場

① 2018年実績レート
1ドル：109.14円

① 利上げや米中貿易摩擦等で、景気に不透明感強まる
② 2019年想定レート 1ドル：105円

その他

① 中国経済の減速が明らかに
② ロシアは流通在庫にだぶつき
③ 中近東は需要復調も地政学リスク

① 貿易問題等で、中国経済の減速が鮮明に
② ロシアの需要は底堅く推移
③ 原油安や地政学リスクで、中近東経済の先行きは不透明

ドメイン別事業環境

2019年想定シナリオ

歯科分野

- よりプライスオリエンテッドなマーケット
- インプラント・予防歯科市場の継続的成長
- 個人歯科医院からグループ経営へシフト（欧米）

工業分野

- 自動車関連業界需要は底堅く推移
- 製造ラインの自動化・省力化ニーズへの対応強化
- スマホ関連需要は減速傾向

メディカル分野

- 欧米大手メーカーとの競合が顕著に

全社重点戦略

医療機器メーカーとしての攻めと守りの
経営を推進し、安定的事業基盤を堅持

Focus
集中

開発力の増強・深堀り
北米における事業拡大
ITインフラの強化

Enhancement
強化

回転技術・超音波技術の深化・展開
生産キャパシティ拡大・生産性向上
No.1のアフターサービス提供

長年積み上げてきた強みを磨き上げ、
より高い顧客満足の獲得

ダントツ
グローバル
No.1
メーカー

「RD1」「A1」がフルイヤーで寄与

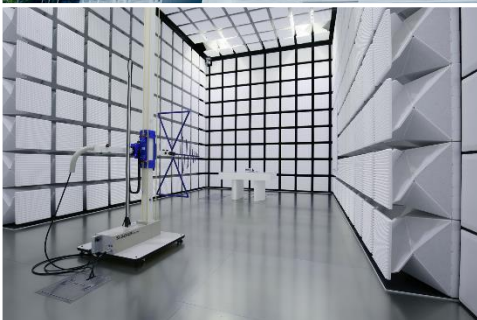
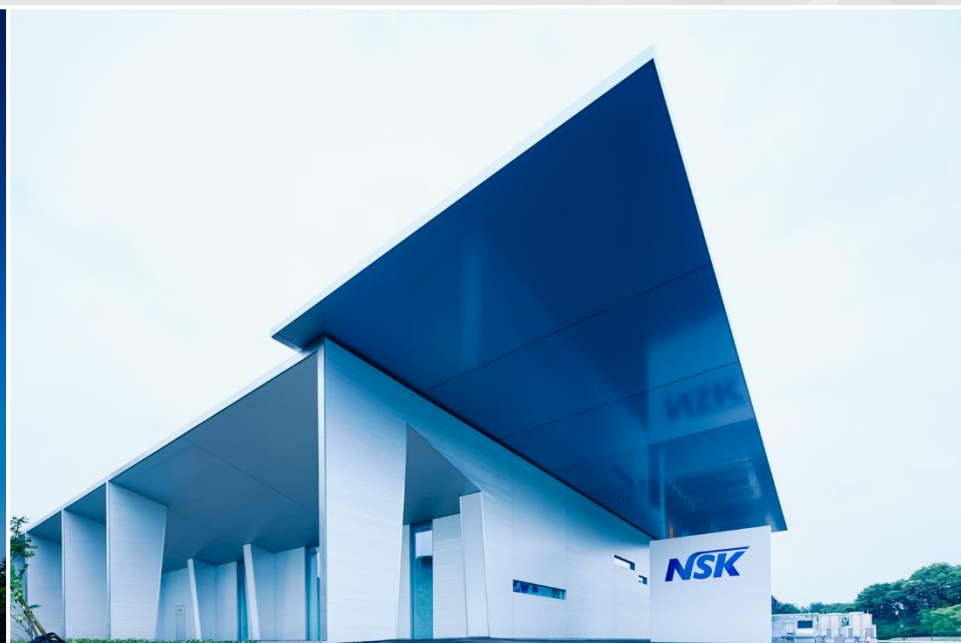
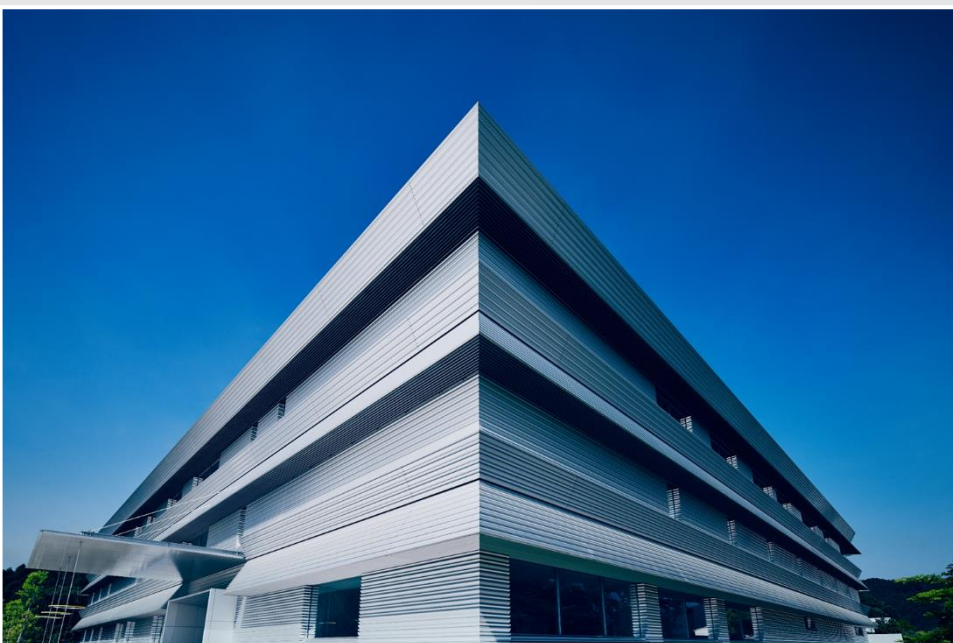
当社の持続的成長を担う「開発」「生産」中核拠点

本社R&Dセンター「RD1」

- ▶ 2017年4月竣工・延床面積12,000平方メートル
- ▶ お客様に感動を与える製品をスピーディーに開発

新工場「A1」

- ▶ 2018年3月竣工・延床面積14,000平方メートル
- ▶ 生産キャパシティとコスト競争力の大幅アップを狙う



Integration Diagnostics Sweden社を子会社化

- インプラントの定着度を測定する振動テストの開発・製造・販売を行っている
- インプラント振動テストは世界市場でも2社しか供給していない稀少な技術分野
- 世界市場で高いシェアを誇るインプラントモーター「Surgic Pro」を有する当社との技術的親和性は高く、両社の技術の融合を通じて革新的なインプラント関連製品の創出を図る



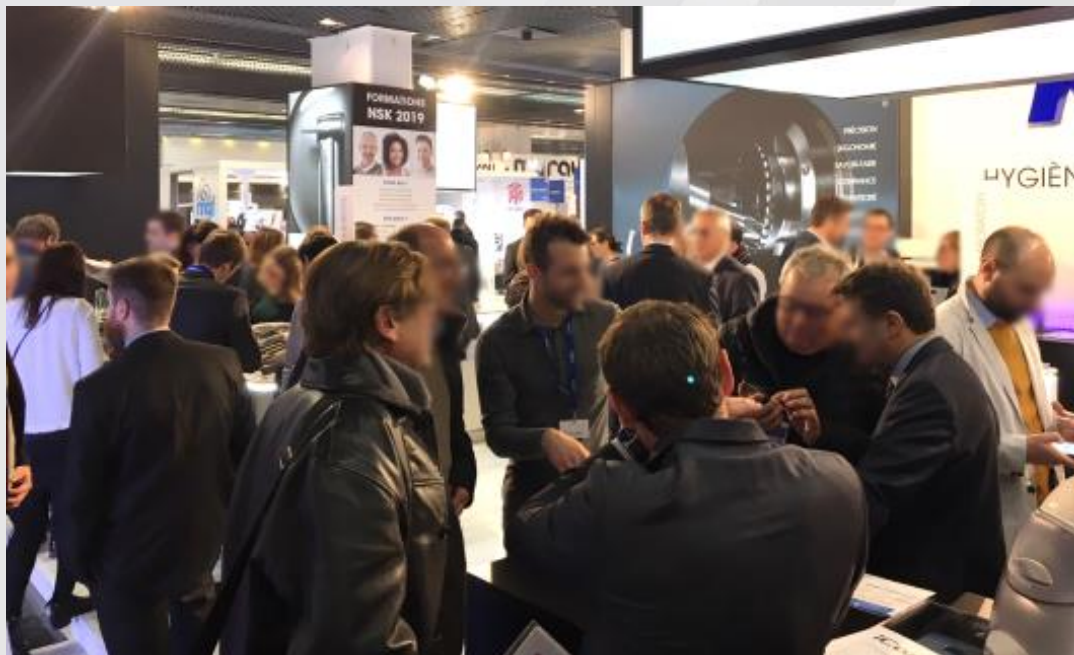
歯科事業の状況

欧州市場

不透明感強まるものの、欧州は堅調に推移

2018年概況

- 欧州各現地法人の販売は堅調
- OEMビジネスも伸長



フランス展示会（ADF2018・パリ）

2019年施策

- ハンドピース・インプラント関連製品の拡販
- 買収したIntegration Diagnostics Sweden社とのシナジー創出
- IDS2019（世界最大規模のデンタルショー：ドイツ・ケルン）で世界戦略新製品を数点発表。今年後半、来年以降の売上増を狙う

北米市場

引き続き、NSKブランド価値向上とシェア拡大を目指す

2018年概況

- NAM：市場競争がさらに強まる中
自社ブランドビジネスは健闘
- OEM：在庫調整局面が続く
ブラスラー向け販売低調

2019年施策

- さらなる営業力の強化によって
自社ブランドのシェア拡大を図る
- OEM：在庫調整こなし、販売平常化へ



米国展示会（Greater NY Dental Meeting 2018・ニューヨーク）

アジア市場

中・韓・東南アジア諸国は堅調に推移

2018年概況

- 中国：上期伸び悩むも下期挽回、通年では増収に
- 韓国：厳しい市況感ながらも、計画達成
- 東南アジア：地域差あるものの、前期に比べ販売増



ベトナム展示会（VIDECON2018・ハノイ）

2019年施策

- 中国：学術セミナーの開催等、KOLとの連携通じて高額品販促やプライベートクリニックを深耕
- 韓国：ディーラーサポートの強化とOEMビジネスの拡大施策を継続
- 東南アジア：地域密着型の営業展開を継続



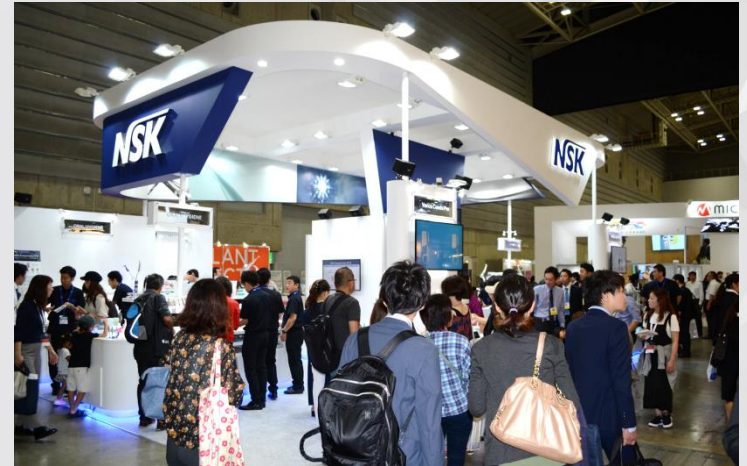
中国ハンズオン（香港大学ハンズオンコース・香港）

国内市場

上期は滅菌関連需要で大きく伸長するも、下期は反動減に

2018年概況

- 代理店：院内感染防止対策に関する施設基準の新設で上半期の販売が大きく伸長したものの、下半期は大幅反動減
- OEM： 堅調に推移しており、計画を達成



歯科展示会（ワールドデンタルショー・横浜）

2019年施策

- 代理店：セミナー、製品説明会を通じて当社製品の優位性を訴求
- OEM： セミナー開催を通じてインプラント関連製品の販促継続



訪問診療セミナー（梅田）

その他市場 (南米, 中東, ロシア, オセアニア)

2018年概況

- 南米： ブラジル現地法人による販売堅調
- 中東： 大型入札案件を獲得し、販売伸長
- ロシア： 在庫調整局面が続き、販売伸びず
- オセアニア： 引き続き好調



UAE展示会 (AEEDC2018・ドバイ)

2019年施策

- 南米： 各国ディーラーとの関係強化、販売増を目指す
- 中東： 入札案件減り、大幅な販売減を見込む
- ロシア： ディーラーとの関係強化で販売力の増強を図る
- オセアニア： プライベート市場の深耕を継続



オーストラリア展示会 (ADX2018・シドニー)

工業事業の状況

工業

2018年概況

- JIMTOF（国内最大級の工作機械見本市）出展の成功
- 自動車関連ビジネスが堅調に推移
- 米国が増収に転じた他、国内、欧州アジアの販売が2ケタ伸長



JIMTOF 2018（東京）

2019年施策

- 成長性の高いアジア市場の開拓、欧州市場の代理店網の拡充
- 「生産現場の自動化」をテーマにシステムインテグレータとの協業を一層強化
- 高精度・小径・高速回転モータ&スピンドル「E4000」シリーズの拡販

メディカル事業の状況

メディカル

販売台数が堅調に推移し、国内外ともに2ケタ伸長を継続

2018年概況

機器本体の販売台数の積み上がりによって、消耗品販売が増加

- 日本：営業活動強化による成約率の向上、新製品「Primado Air」の販売開始
- 欧州：ドイツ、イタリア、スペイン市場への集中により、代理店の販売活動が活発化
- 北米：代理店網の再構築と販売施策の強化により、ターゲット施設での成約率が向上
- その他：成長市場である中国、東南アジア、インドに対する取り組みを一層強化

2019年施策

計画的な営業活動やKOLと連携した教育活動を通じて、事業基盤を固める一年に

- 日本：計画的な営業活動の継続、新規診療科(耳鼻咽喉科)の開拓強化
- 欧州：ドイツ市場の一層の深堀り、イタリア、スペイン向け代理店施策の実施
- 北米：代理店網の強化とOEMビジネス獲得に向けた営業活動
- その他：新興国市場における消耗品販売比率向上施策の実施

医師向け教育活動を継続

教育活動を通じたKOLとの関係性強化により、ブランド力向上を図る

- 国内外教育コースへの協賛を通じ、次世代を担う若手医師の育成に貢献
- 講師として日本人医師を海外派遣する等、国を超えたKOLグループ作成も視野に
- 教育コース協賛により、次世代製品開発のためのディスカッションやトライアル実施が可能に



▲ 日本 脳神経外科学会展示



▲ インド 製品トライアル



▲ ドイツ 製品トライアル



▲ タイ 日本人医師向けキャダバーコース



▲ 中国 キャダバーコース



▲ 米国 キャダバーコース

NSK